

先人の知恵活かし、さらなる発展を

麻生区区制 40 周年記念事業実行委員長 宮野 敏男



麻生区区制 40 周年を迎え、多くの皆様と一緒にお祝いできますことを大変嬉しく思います。

また、40 周年の祝賀にあたって、65 の団体の皆様に御賛同と御協力をいただきましたこと心から感謝申し上げます。

麻生区は市内 7 区の中で最も高齢化率の高いまちであり、そうした中で新型コロナウイルス感染症の拡大によって、地域のコミュニティがさらに希薄になり、地域の絆が弱まっているのではと危惧する声も聞かれます。この区制 40 周年の様々な事業が、世代を超えた交流や地域のつながりなど地域コミュニティの活性化のきっかけになれば大変嬉しく思います。

10 年後に迎える区制 50 周年には、地域の長年の夢であった横浜市高速鉄道 3 号線も新百合ヶ丘まで延伸される予定で、まちも大きく変わっていくことでしょう。

一方で、麻生区は治安が良く、住みやすいまちと言われています。自然が豊かで、地域活動も盛んです。こうした麻生区の変わらぬ魅力を次の世代に繋いでいくことも非常に重要な役割だと思います。

先人の知恵を活かしつつ、新たなまちづくりが麻生区のさらなる発展につながることを心から願うばかりです。

結びにあたり、麻生区民の皆様の御健勝・御多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

魅力あるまちづくりにチャレンジ

麻生区長 三瓶 清美



麻生区は区制 40 周年という節目の年を迎えました。区民の皆様とこの記念すべき年をお祝いできますことを感慨深く思っております。

多摩区から分区した当時、約 9 万 6 千人だった人口も現在 18 万人を超え、豊かな自然と芸術、スポーツが溶け合う活力のあるまちとして発展を続けてまいりました。これもひとえに、まちを想う心を変え、力強く歩みを続けてこられた多くの区民の皆様、先人の皆様のおかげと心から敬意と感謝を表したいと思っております。

表紙のデザインは、これからも笑顔があふれる麻生区であってほしいという願いを込め区民の皆様の笑顔を集めたものです。10 年後、20 年後にはさらに多くの笑顔あふれるまちであることを願っております。

新型コロナウイルス感染拡大によって、私たちの価値観や生活様式は大きく変わりました。そうした時だからこそ、このまちに住まう方々が「住み続けたい」と感じ、誰もが「訪れてみたい」「住んでみたい」と思える魅力あるまちとなるよう、チャレンジを重ねていかなければいけないと考えております。

区制 40 周年は節目の年ではありますが、次の 10 年の発展を考える大変重要な時でもあります。引き続き区民の皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。